



Title	Gallia 64号 会員研究活動報告
Author(s)	
Citation	Gallia. 2025, 64, p. 248-255
Version Type	VoR
URL	<a href="https://hdl.handle.net/11094/102168">https://hdl.handle.net/11094/102168</a>
rights	
Note	

*The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

# 会員研究活動報告

(2024年1月1日～12月31日)

## エリック・アヴォカ

Articles	<ul style="list-style-type: none"> <li>« Représenter la représentation : les assemblées de l'Antiquité, miroirs de la Révolution à la scène », <i>Revue italienne d'études françaises</i>, n° 14, en ligne, <a href="https://doi.org/10.4000/12oz6">https://doi.org/10.4000/12oz6</a></li> <li>« "Comment en un plomb vil l'or pur s'est-il changé ?" <i>Athalie</i> contre la Constituante, parodie et transfert du sacré », <i>Gallia</i> 大阪大学フランス語フランス文学会, n° 63, p. 29-42, mars</li> </ul>
Direction et chapitres d'ouvrage collectif	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <i>Regards croisés sur la famille (XVII<sup>e</sup>-XX<sup>e</sup> siècles) – Images, récits, discours</i>, textes réunis et présentés par Éric AVOCAT, Noriko MOCHIZUKI et Yoichi SUMI, Université Keio (Tokyo, novembre)</li> <li>• « Ouverture à deux voix », Yoichi SUMI et Éric AVOCAT, <i>Regards croisés sur la famille (XVII<sup>e</sup>-XX<sup>e</sup> siècles) – Images, récits, discours</i>, p. 1-7</li> <li>• « Familles en crise dans le théâtre de la Révolution française : scène de la vie privée, intérêt public », Éric AVOCAT, <i>Regards croisés sur la famille (XVII<sup>e</sup>-XX<sup>e</sup> siècles) – Images, récits, discours</i>, p. 93-114</li> <li>• « Esquisse d'une typologie dramatique des espaces publics de la délibération », Éric AVOCAT, <i>Regards croisés sur la famille (XVII<sup>e</sup>-XX<sup>e</sup> siècles) – Images, récits, discours</i>, p. 129-149</li> <li>• « Jusqu'aux derniers rideaux des hautes latitudes » : la quête de nouveaux territoires de fiction chez Jules Verne, entre gradation et renversement », Colloque international <i>Degrees of Fictionality / Les degrés de fictionnalité</i>, Association for Studies in Fiction and Fictionality (ASIF), 関西学院大学, 10月</li> </ul>
Communication à un colloque	« Discussion sur le Choix Goncourt du Japon 2025 – Impressions de lecture avant sélection », コーディネーター・パネリスト, 日本フランス語フランス文学会秋季大会 (SJLLF), 関西学院大学, 10月
Organisation et animation d'un Workshop	
足立 和彦	<ul style="list-style-type: none"> <li>「落語の近代化？—三遊亭円朝「名人長二」とモーパッサン」, 「落語で学問する！」第2回研究発表会, オンライン, 3月</li> <li>「モーパッサン『水の上』, あるいは詩への回帰」京都大学人文学研究所 共同研究・基盤研究(C) 斑「ポスト=ヒューマン時代の起点としてのフランス象徴主義」, 第22回例会, 京都大学, 7月</li> <li>« Le lecteur comme destinataire : les contes épistolaires de Maupassant », Colloque international « La Fiction épistolaire en France. Du XIX<sup>e</sup> siècle au XXI<sup>e</sup> siècle », Paris, New York University, 11月</li> <li>「対訳で楽しむモーパッサンの短編（第1-3回）」, 『ふらんす』, 10月号～12月号, 各回6頁, 10-12月</li> <li>「アンリ・トロワイヤ『モーパッサン伝』(水声社) 刊行に寄せて」, 『研究論集』, 日本フランス語フランス文学会中部支部, n° 48, p. 57-60, 12月</li> </ul>
口頭発表	
雑誌記事	
訳書紹介	

## 安達 孝信

## 論文

- ・「エミール・ゾラ『パリの胃袋』における苦難のパリと再生の郊外」,『名城大学人文紀要』,第 59 卷 3 号 ,p. 1-15, 3 月
- ・「ユイスマンスと反ブルジョワ的美術批評ードガ, ギヨーマン, グナットをめぐってー」, *Gallia*, 第 63 号 ,p. 95-106, 3 月
- ・「エミール・ゾラ『ムーレ神父のあやまち』における死の庭パラドゥー」,『名城大学人文紀要』,第 60 卷 1 号 ,p. 1-16, 9 月
- ・「パリオリンピックとセヌ川：遊泳の禁止とその誘惑」,『中部経済新聞』,7 月 26 日号掲載
- ・「パリ郊外と自然主義文学」,『名城大学リサーチフェア 2024』, 11 月 25 日 -12 月 25 日)

## 新聞記事

## ポスター発表

## 安藤 麻貴

## 論文

- ・«La représentation des plantes chez Camus dans les années Cinquante —Un éclairage sur la création du *Premier Homme*», *La Revue des lettres modernes*, Série *Albert Camus*, n°26, «Postérité d'Albert Camus», Lettres modernes Minard, p. 45-58, décembre

## 口頭発表

## 連載記事

- ・「アトリエ『プチ・ニコラ』IV—『プチ・ニコラ』番外編 ゴシニとサンペによるルボルタージュ」, 野呂康氏との共同発表, 日本フランス語フランス文学会中国・四国支部大会, 山口大学, 12 月 14 日
- ・「『星の王子さま』への招待 (全 6 回)」, 中村啓佑氏発行『花だより人だより—ふみの里から』, 54 号 -55 号 , 57 号 (1) (2) (3), 58 号 , 1 月 -10 月

## 岩根 久

## 口頭発表

- ・「効果的な苦情対応のための ESP 教材開発：アンケートとロールプレイの調査結果から」, 岩井千春氏と共同発表, 外国語教育メディア学会 (LET) 第 63 回 (2024) 年次研究大会, 名古屋学院大学, 8 月 7 日
- ・「AI 支援による 16 世紀フランス語テキスト研究：テキストの校合について」, テクストマイニングとデジタルヒューマニティーズ研究会, 大阪大学, 8 月 30 日
- ・«Traduire Ronsard, et le chanter : Réceptions littéraire et musicale en Corée et au Japon» , 伊藤玄吾氏, 上谷俊則氏, 林千宏氏と共同発表, RonsArt, 66e Colloque international d'études humanistes, CESR, Tours, France, オンライン , 9 月 11 日

## 上江洲 律子

## 公開講座

- ・「フランス文学におけるある挑戦～アゴタ・クリストフ『悪童日記』～」, ラジオ沖縄『沖国大ラジオ講座～万国津梁をめざして～』, 9 月 25 日 , 10 月 2 日

- 太田 晋介
- 論文
- ・「詩の始まりとしての反ロマン主義：初期ポンジュにおける古典詩学の再建と解体」、『ステラ』、第43号、12月、271-294頁
- 柏木 加代子
- 論文
- ・«Flaubert, le Japon et le japonisme», *Gallia LXIII*, mars 2023, p. 83–94.
  - ・「伊藤小坡の『琵琶記』—歴史画と風俗画の交差（キアスマ）」京都市立芸術大学 美術教育研究会研究誌『美』第222号、30-35頁、3月31日
  - ・「<観る>上村松菴 一京都画壇・京都芸大とともにー」、京都市立芸術大学美術教育研究会研究誌『美』第223号、71-83頁、9月30日
- 柏木 隆雄
- 著書
- ・『本居宣長・春庭・小津久足・小津安二郎—伊勢松阪の知の系譜—』、和泉書院、268頁、11月30日
- 論文
- ・「語りの妙味 —プロスペル・メリメ『カルメン』をめぐって—」、『研究論集』No.48、日本フランス語フランス文学会中部支部、p. 1-24、12月
- エッセイ
- ・「松阪の知の系譜 本居宣長、小津久足、小津安二郎」第112回～124回、夕刊三重新聞  
1月6日～4月6日まで毎週土曜日連載  
112「戦争体験の影はどこに」113「戦争只中に『父ありき』」114「父ありき」、「長屋紳士録」115「『晩春』は『父ありき』の変奏」116「『晩春』の山場の能楽堂」117「『晩春』、『宗方姉妹』で古典回帰」118「『麦秋』既婚組と未婚組」119「戦中の作品をリメーク」120「名作『東京物語』の背景」121「サラリーマンの哀歎」122「『東京暮色』も名作」123「戦前の名作をリメーク」124「小津一党の流れくむ」
  - ・「會津八一の歌碑をたずねて」報告、*Mon Nara*、2024年2月号、奈良日仏協会、p.4、2月25日
  - ・パスカル研究の「大阪学派」、『花だより』、No.56、p.2-4、8月31日
  - ・三好孝元理事長を悼む『赤壁』第96号、三重同工会、p. 3、9月1日
  - ・参加者感想『紡ぐ』奈良日仏協会創立30周年記念誌、p.36、12月1日
- 口頭発表
- ・「文学の世界から見る昔のお金、今のお金」、三重日仏協会、放送大学三重学習センター共催、三重県総合文化センター文化会館、2024年4月7日
  - ・「西川祐子先生を偲んで」、関西バルザック研究会、近畿大学（ズーム開催）、8月31日
  - ・「谷崎潤一郎と上方の食」、懐徳堂古典講座、阪大中之島センター、11月7日
  - ・「小林一三の小説」、懐徳堂古典講座、阪大中之島センター、11月14日
  - ・「肥田皓三のなにわ学」、懐徳堂古典講座、阪大中之島センター、11月21日
- 金崎 春幸

- |                                 |   |
|---------------------------------|---|
| 論文<br>川上 紘史                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ «Adonis et Astarté dans <i>La Tentation de saint Antoine</i>», <i>Gallia</i>, n° 63, p. 71-73, 3月</li> </ul>   |
| 博士論文<br>論文<br>口頭発表              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <i>Voir autre chose que ce que je vois. La vision chez Pascal.</i> (リヨン第二大学に提出, 1月)</li> <li>・ 「視覚イメージに基づくパスカルの説得——「説得的な証拠によって神の印を見せる」, 『フランス哲学・思想研究』第29号, p. 27-39, 10月</li> <li>・ 「今見ているものとは別のものを見る—パスカルにおける視覚—」, 第92回大阪大学フランス語フランス文学学会研究会, 大阪大学, 3月2日</li> <li>・ 「パスカルにおける視覚」『パスカル読本』論文検討会, 盛岡大学, 8月2日</li> <li>・ 「トニー・ゲラルト『パスカル：モダン, アンチモダン, アルター・モダン?』の翻訳」第二回『パスカル読本』論文検討会, 武蔵大学, ハイブリッド, 11月10日</li> </ul> |
| 北村 卓<br>論文<br>共編著<br>書評<br>口頭発表 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「ボードレールにおける「孤独」の展開—ロビンソン・クルーソーへの言及を通して」, 『表象と文化XIX』大阪大学大学院人文学研究科「言語文化共同研究プロジェクト2023」, p.15-20, 5月</li> <li>・ 『実用フランス語技能検定試験2024年度版2級・準2級 仮検公式ガイドブック』, フランス語教育振興協会, 駿河台出版社, 準2級担当, p.125-241, 4月</li> <li>・ 中地義和編『ボードレール詩と芸術』, 《日仏会館ライブラリー》1, 水声社, 2023年, 日本フランス語フランス文学会『Cahier』34号, p.18-20, 8月</li> <li>・ 「フランス詩における抒情詩研究の射程」, シンポジウム『抒情詩の「話者」／「主体」理論』, 日本比較文学学会関西支部9月例会, 近畿大学, 9月21日</li> </ul>                |
| 篠原 學<br>共著<br>論文                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 『将棋と文学セレクション』, 将棋と文学研究会監修, 矢口貢大編, 秀明大学出版会, 7月 [担当箇所: II部テーマ篇「将棋と小説」p. 186-189.]</li> <li>・ 「クンデラはどのようにカフカの遺産を継承したか」, 大阪大学大学院人文学研究科「人文学共同研究プロジェクト2023」『ヨーロッパ超域研究6』, p. 1-12, 3月</li> <li>・ 「将棋の駒を動かす: 堀辰雄の読むモーリアックの小説論」, 大阪大学大学院人文学研究科「言語文化共同研究プロジェクト2023」『表象と文化XXI』, p. 31-41, 5月</li> </ul>   |

- |              |   |
|--------------|---|
| 口頭発表         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ «La Création du personnage chez Milan Kundera : le «pacte» et le «je»», «Les Degrés de la fictionnalité», Troisième colloque international de la Société internationale des recherches sur la fiction et la fictionnalité, 関西学院大学, 10月19日</li> <li>・「『一九八四年』の変奏としての『存在の耐えられない軽さ』——家族のあり方に着目して」, 第146回欧米言語文化学会例会, オンライン, 12月8日</li> </ul> |
| 講演           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「狭間で待つ、ということ」, 小川洋子氏および田邊欧氏との鼎談, 第2回大阪大学外国語学部・外国学専攻シンポジウム「物語からことばへ、ことばから役割へ」第1部, 10月5日</li> </ul>   |
| <p>高岡 尚子</p> |   |
| 共著           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ジェンダー事典編集委員会編『ジェンダー事典』編集委員（丸善出版 [本人担当：「フランス文学」] 1月）</li> </ul>   |
| <p>武田 裕紀</p> |   |
| 論文           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ポール・ロワイヤル論理学における観念の明晰性と判明性について」, <i>Gallia</i> 63号, p. 13-28, 3月</li> </ul>  |
| 口頭発表         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「パスカルにおける科学的認識と論証——『幾何学的精神について』を中心に」, 京都哲学史研究会, オンライン, 5月11日</li> <li>・ «Idée claire et idée distincte dans la <i>Logique de Port-Royal</i>», Colloque international : L'art de penser à l'âge classique, 日本女子大学, 9月11日<br/>[パスカルとサイフォンの原理], 日本科学史学会西日本研究大会, 関西大学, 12月7日</li> </ul>   |
| <p>寺本 成彦</p> |   |
| 口頭発表         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「月世界旅行の光と影—J・ヴェルヌからG・メリエスに至る科学的驚異の物語と植民地主義ー」, 日本フランス語フランス文学会2023年度北海道・東北支部大会, 山形大学, 2023年11月4日</li> </ul>   |
| インタビュー記事     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「文学研究から映画研究へと橋を渡す」, 季刊誌『まなびのめ』, 第66号, 笠氣出版印刷株式会社, 10月, <a href="http://manabinome.com/archives/9169">http://manabinome.com/archives/9169</a></li> </ul>   |
| <p>中島 姫奈</p> |   |
| 口頭発表         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ «La curiosité dans le conte <i>Serpentin Vert</i> La résistance aux préjugés, les femmes qui lisent», L'éducation des femmes : dialogue entre la littérature française et la littérature japonaise du Moyen Âge aux Temps modernes, Université de Kyoto, 2 février</li> </ul>  |

永瀬 春男

研究ノート

- ・「パスカルにおける論証と説得 —『パスカル科学論集』収録作品を中心の一新刊『パスカル科学論集』の紹介を兼ねて」,『岡山大学ヨーロッパ言語文化研究』,第42号,54-62頁,10月

口頭発表

- ・「パスカルにおける論証と説得 —『パスカル科学論集』収録作品を中心にして」,岡山大学ヨーロッパ言語文化研究会,6月8日
- ・「パスカルの科学論争—「秩序」論の生成と展開」,大阪大学フランス語フランス文学会第93回研究会,9月28日

濱田 明

口頭発表

- ・「ハーンにとってのフランス文学：シンポジウム 「越境するハーン—日本・中国・フランス」」,2024年度日本比較文学会秋季九州大会,熊本大学,12月7日

林 千宏

口頭発表

- ・«La réception des chansons sur des poèmes de Ronsard au Japon», Atelier «Réception et traduction de Ronsard en Asie : poésie et musique» [en visio-conférence], 66e colloque international d'études humanistes: RonsArt, Centre d'études supérieures de la Renaissance, Tours, 11 septembre
- ・«Renouveler la lecture des *Amours* (1552) de Ronsard pour une traduction intégrale»,ワークショップ「ロンサール『恋愛詩集』(1552)の新たな読解・翻訳に向けて」日本フランス語フランス文学会2024年度秋季大会,関西学院大学,10月27日

春木 仁孝

論文

- ・「ふたたびフランス語の隠喩性について」,『時空と認知の言語学 XIII』「言語文化協同プロジェクト2023」p. 34-43. 大阪大学大学院人文学研究科, web版, 大阪大学学術情報庫 OUKA gbkp\_2023\_j\_034.pdf

平光 文乃

翻訳

- ・ジル・フィリップ「文体の変化を考える」平光文乃訳, *Gallia*, n° 63, p. 167-179, 3月

口頭発表

- ・「『囚われの女』ピアノラの場面におけるラモーとボロディン」,関西ブルースト研究会,京都大学,3月30日
- ・「ブルースト『失われた時を求めて』における「部屋」」, 研究教育フォーラム (第53回教員研究会),大阪大学人文学研究科,12月12日

三原 大輝

論文

- ・「パスカル『パンセ』草稿『premier jet』における加筆修正—セリエ版断章124、断章192—」, *Gallia* 63号, 3-12頁, 3月

口頭発表

- ・「パスカルの執筆活動について—「移行」の断章に収められる断章を中心に—」, パスカル研究会第173回例会, 明治大学駿河台キャンパス, 6月1日

山上 浩嗣

論文

- ・「パスカルとモンテニュにおける政治と道徳——法の無根拠性、政治改革への嫌悪」, 『人文学林』1号, 大阪大学大学院人文学研究科, 165-183頁, 3月
- ・「ディドロ『サロン』抄訳(6)」, 『大阪大学大学院人文学研究科紀要』1号, 1-50頁, 3月
- ・「『だらしなくふんわりと死ぬこと』——モンテニュの理想の死とパスカル」, 『フランス哲学・思想研究』第29号, 日仏哲学会, 40-52頁, 10月
- ・«“Mourir lâchement et mollement” : Pascal face à la mort idéale selon Montaigne», *Courrier Blaise Pascal*, n° 46 : «400 ans de la naissance de Pascal», Centre international Blaise Pascal, p. 239-255, novembre
- ・「『プロヴァンシャル』第14信における政治思想——パスカルとニコルの間」『思想』1209号(2025年1月号), 岩波書店, 29-50頁, 12月

翻訳

- ・ラファエル・ブラン「女性とリベルティナージュ：危険な関係？」, 『ガリア』63号, 137-151頁, 3月

エッセー

- ・「パスカルのメント・モリ」『花だより 人だより ふみの里から』56号(パスカル特集), 中村啓佑発行, 5-6頁, 4月20日

口頭発表

- ・「パスカル『パンセ』入門」第1回「〈自己愛〉から〈慈愛〉へ」, 第2回「〈考える葦〉から〈賭け〉へ」, 2024年度西田幾多郎哲学講座, 石川県西田幾多郎哲学記念館, 7月6日・7日

- ・«Le manuscrit original et les copies des *Pensées de Pascal*», 「哲学を手稿とアーカイヴの視点から見る」(ベネデッタ・ザッカレロ講演「哲学の手稿とアーカイヴから何を学びうるか」へのコメント), 成城大学国際編集文献学研究センター主催, 成城大学, 7月15日

- ・「パスカルのメント・モリ——『パンセ』における〈人間の尊厳〉」, 盛岡大学, 8月1日

- ・「パスカルの生涯再考」, 「『パスカル読本』刊行に向けた論文検討会」, 盛岡大学, 8月2日

- ・«La pensée politique dans la 14<sup>e</sup> *Provinciale* : entre Pascal et Nicole», Colloque international «Entre Absence et Présence : les *Provinciales*», Université d'Okayama, 14 septembre 2024

- ・「パスカル『パンセ』入門——〈考える葦〉から〈賭け〉へ」, 朝日カルチャーセンター新宿教室, オンライン, 10月19日

- ・「ラファイエット夫人作『クレーヴの奥方』を読む——誘惑と貞節の心理小説」, 2024年度ラスタ教養大学言葉文化コース, 伊丹ラスタホール(伊丹市立生涯学習センター), 2024年12月9日

涌井 萌子

論文

- ・「デジタルヒューマニティーズとマザリナード——「レ枢機卿のマザリナード」の計量的分析による帰属検証——」,『関西フランス語フランス文学』30号,3-15頁,3月

渡辺 貴規子

論文

- ・「大正期の少女雑誌におけるフランス小説の受容—グザヴィエ・ド・メーストル原作, 野村壽恵子訳『シベリアの少女』をめぐって」,『大阪大学大学院人文学研究科紀要』第1巻,159-181頁,3月
- ・「大正期の少女雑誌『新少女』における西洋文化の受容—フランスに関する記事を中心に—」,言語文化共同研究プロジェクト2023『言語文化の比較と交流11』,45-60頁,5月

口頭発表

シンポジウム  
(パネリスト)

- ・「大正期の少女雑誌に掲載された女性の伝記の様相—『新少女』を例に」,日本児童文学学会 第63回研究大会,京都華頂大学・華頂短期大学,2024年12月1日
- ・福田 義昭,橋本 順光,鈴木 真世,渡辺 貴規子「越境の研究,研究の越境」,大阪大学人文学研究科 人文学林シンポジウム,大阪大学,11月14日